

おそらくこれが貴方に届く今年最後の年賀状となるでしょう。

現在1月9日、前年末に次年の年賀を述べるのと論理的には五十歩百歩だとこじつけながら、多少の違和感を覚えつつキーを打ってます。

去年は世界大乱国内泰平の動きをカウチポテトしている内に過ぎ去りました。

最大の出来事はやはり東欧の変革です。一連の動きをテレビで見た中で最も印象に残っているのは、変革直前にホーネッカーやチャウシェスクの演説を聞き立ち上がって拍手するまわりの人たちの無表情な顔です。

住みよい社会と言われる私達のまわりでもこれとよく似た光景があります。そこはやはり不自由で不平等な社会です。

東欧の変革で社会主義が否定されたとは思いません。平等と自由と民主を共に充足させるには本当の意味での、と言うより新しい形の社会主義しかないと思います。

閑話休題

正月から猫の糞害を避けるために犬を飼いました（猫派の皆さんごめんなさい）。

すでに新年の挨拶を交わした人にはヘンテコな賀状となりましたが今年もよろしくお願ひします。 福田 弘より賀正！